

一羊会だより

発行
社会福祉法人一羊会

事務局
〒663-8241
西宮市津門大塚町1-47
電話 (0798) 31-1760
FAX (0798) 31-1763



一羊会ホームページ
へはこちらから

特集

- 法人全体研修報告・新任職員紹介 3
- あとりえずかけ新聞『展覧会・すずかけの間その8』報告 4～5



新年度を迎えて



理事長
三浦 昇

いつも一羊会事業にご協力、ご支援賜りありがとうございます。

一羊会も1976年に設立されて、あと2年で50年を迎えようとしています。設立母体である（一社）「西宮市手をつなぐ育成会」が昨年60周年を迎えられ、歴史を振り返るなかで私も現場に携わっていたころが懐かしく思い出されます。

さて先日、職員全体研修に参加させていただきました。職員同志のいい表情、ゆったりとした雰囲気の中で、コロナ5類移行になって久しぶりに職員さん達と顔を合わせながらの参加ができ、いい刺激をもら

い、うれしく楽しく過ごせたことに感謝です。やはり顔と顔を合わせたコミュニケーションが基本の基でしょうね。

さて、2024年度も全体的に厳しい状況にあり、山口町土地売却については進んでおらず会計面での厳しい状況が続いています。事業全体としては運営状況を考慮し山口町ホーム廃止、児童関係ではカノン・カノン今津の統合を決定しました。

特に地域生活支援センター「ジョイント」関係の事業は赤字が累積してきてこのままでは事業継続が難しい状況にあり引き続き運営の見直しが必要になってきています。さらに生活基盤であるジョイントホームの住環境の再編、再建の更なる検討を行っていきます。職員体制も厳しい中、初めて外国人の採用にも踏み切りました。

今年度は、事業全体を法人職員みんなでお互いにカバーしながら取り組む方針を強化し、難局打開に向けて取り組む計画です。

ご心配をおかけしますが、引き続きご支援の程よろしく願いいたします。



副理事長
市原 博

平素は一羊会の運営にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

私が一羊会に来て3年が経とうとしています。最近主にグループホームに関わらせてもらっています。グループホームはしょうがい者の生活の要であり、一羊会にとっても最重要事業の1つでもあります。その事業も昨今の人手不足、グループホームは泊りがメインのため、より一層深刻な状況です。ま

た、経営面でも赤字が続いています。先ほども述べましたように、グループホームはしょうがい者の生活の要であり、法人全体で人員面、経営面をカバーしていかなければならないと思っています。

また、グループホーム事業もより一層の改革をしていかなければなりません。今年度、女性ホームに関しては、去年スタートとした元浜ホームを中心に再編を行い、男性ホームは、老朽化した建物、利用者の高齢化も踏まえ、ホームの移転・建て替えを進めていきたいと思っています。

最後に、一羊会全体としてもここ数年赤字が続いています。営利企業のように利益を追求する必要はありませんが、法人を維持・継続するためにも、利益を上げなければなりません。より良い改革に向けて、職員や応援して下さる皆様と共に考えていければと思っています。これからもご支援の程よろしく願いいたします。



2024年度

一羊会法人全体研修

新年度を迎えて間もない4月13日、一羊会の法人全体研修が開催されました。新任職員の辞令交付と紹介が行われた後、午前は、法人事業計画の共有や制度上義務化されたものについての座学、午後からは“虐待防止”や“働きやすさ”といったテーマについてのグループワークが行われ、普段は交流する機会の少ない他事業所の職員と意見を交換しました。



すずかけ
作業所



田中 萌

入職してまだ半年程なので分からないこともいっぱいありますが、分からないことはそのままにせず先輩職員に質問したりしながら頑張っています。よろしくお願いします。

すずかけ
第2作業所



石川 駿太郎

分からないことも多いですが、自分なりに頑張っていこうと思います。よろしくお願いします。

すずかけ
労働
センター



田中 力

身体は大きいですが、中身はなかなかの小心者。しかし熱い心を持った人間だと思っています!! どうぞよろしくお願いします!!

新任職員紹介

2024年度、新たに入職した新任職員の皆さんです。
(2023年度途中に入職した職員含む)

一羊園



藪田 瑛二

積極的に支援に取り組み、利用者さんの事をよく知っていききたいです。

佐々木 英樹



福祉職の経験は浅いですが、日々の業務で自身の引き出しを増やして、より良い支援ができるよう頑張っていきたいと思っています。

米井 典子



利用者の方の特性や気持ちを汲み取り、前を向けるような言葉をかけられる支援員になりたいです。

あとリえ すずかけ 新聞

第30便 2024.5
撮影/編集: 神田 浩平

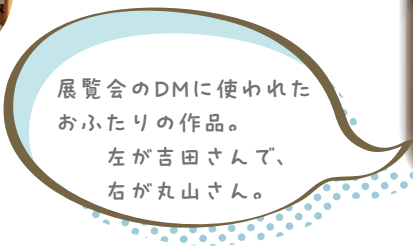
あとリえすずかけの展覧会『すずかけの間』が2月29日～3月5日の期間に開催されました。第8回目となる今回の展覧会は、丸山緑さんと吉田克也さんの作品を展示しました。おふたりとも所属する『すずかけ絵画クラブ』で、20年以上の間、創作活動を続けられています。ボールペンで細い線を何重にも重ねて描く丸山さんと、画用紙に直接垂らした絵の具を、絵筆でリズムカカルに塗り広げる吉田さん。おふたりの創作スタイルはとてもシンプルですが、作品にはどれも奥深い趣があり、受け手に様々なイメージを想起させてくれます。そんなおふたりの作品を多くの方々に観て頂きました。



会場で流れる映像を
同じ班の仲間達と
鑑賞する丸山さん



自身の絵の前で
くつろぐ吉田さん



展覧会のDMに使われた
おふたりの作品。
左が吉田さんで、
右が丸山さん。



【丸山緑さんの公開制作】

最終日の3月5日には、丸山さんの公開制作が行われ、会場にはたくさんの方がお越し下さいました。緊張もあり、いつもの様に伸びやかなストロークで描くことが出来なかった丸山さんでしたが、最後まで集中を切らずにしっかりと描き上げました。描き終えた後には、ギャラリーの皆さんに深々とお辞儀をして感謝の言葉を述べた丸山さん。晴れやかな表情で、「いまからお昼ご飯食べるわん」と言って颯爽と帰っていった姿は、格好良かったです。

新部長挨拶



事業部長
安田 文彦

このたび部長を拝命しました安田と申します。2003年に就職して、12年を武庫川すずかけ作業所、3年を上甲子園すずかけ作業所、6年をカノン今津で、お子さんから成人の方まで、ご家族、職員、関係者のみなさまと、お住まいや働く場で、楽しさも悲しみも、うれしさも苦しさも、たくさんの時間を一緒に、たくさんのご縁に育てていただきました。

先日、20年前に担当させてもらった利用者さんの保護者さんにばったりお会いして、「あんた老けたね一笑」と言われて、「おたがいさまですよ笑！」と言いつつ、時間の経過を感じています。その長い期間に、法学部卒の福祉素人でしたが、ある利用者さんとの出会いからTEACCHを学び、またある方との出会いからABAを学び、他にも法人内外を問わず、大学の学生さん、他法人の職員さん、異業種の方々などに福祉に関するお話ができるまでに育てていただきました。ラッキーなことに人のご縁に恵まれているようですので、これからも利用者さん、ご家族、職員との出会いを大切に、自分もワクワクできる仕事をしていく所存です。

今までにお会いした方も、これからお会いする方も、どうぞよろしくお願ひします。



総務部長
斯波 幸人

このたび総務部長を拝命いたしました、斯波幸人と申します。2003年に当時の社団法人西宮市手をつなぐ育成会の職員として入職しましたが、翌2004年に育成会と一羊会の地域生活支援に関する事業の統合により一羊会職員となり、今に至っています。

入職から2022年3月までの19年間、地域生活支援に携わり、本当にたくさんの方と宿泊したり、遊びに出かけたり、ご飯を作ったりするなど、皆さんの生活に密着した仕事をさせていただきました。入職当初25歳の時に、周りから本当は40歳台なのでは？と言われることもありましたが、気がつけば、その40歳台に突入したのも何年も前という年齢になりました。長きにわたり、たくさんの方と関わることができたことは感謝に堪えません。

これからは総務の立場となり、支援の現場に関わることは少なくなると思いますが、どのような仕事でも、皆さんの暮らしを支えることに繋がると考えておりますので、一所懸命、仕事に向き合っていきたいと思ひます。

これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

2024年度 一羊会事業計画



「一羊会は誰のためにあるのか」をいつも考え、「しょうがい」のある人たちの願いやおもいを大切にします。

また、ひとりひとりがその人らしく社会の中で生きていくことができるための取り組みを進めます。

住み慣れた地域の中で
あたりまえに働き、
活動し、いきいきと
暮らせることを
めざします。

ひとりの人間として
大切にされ、
自分で決めることが
尊重されるような
支援をめざします。

地域の方と協力し、
みんなが安心して
暮らせる地域づくりを
めざします。



- I. ひとりひとりに合わせた意思表出や自己選択ができる環境を整えていくことで、さらなる社会参加の実現など、個々の生活が充足することをめざします。
- II. 適切な支援が行える人材を確保・養成し、支援の質の向上を図り、法人全体のサービスの充実を目指します。
- III. 地域とのつながりを大切にし、地域のニーズに応えることのできる支援体制の整備を図ります。
- IV. 新しい時代に対応した組織運営体制を確立し、財務規律のさらなる強化を図り、公正で安定した経営を目指します。
- V. 医療機関等他の社会資源との連携を密にし、高齢化問題に対応できる支援体制を目指します。
- VI. 自然災害や感染症などに備えたリスクマネジメントや個人情報などのコンプライアンスに努めていきます。

<財務・組織体制>

1. 経営の強化

1) 経営改善

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の内容の研究を進め、より効率よく収入を確保していきます。

運営経費について、費用対効果を考えながら効率よく運用していきます。

2) 経営力の向上

管理職の経営力の向上を進めていきます。

3) 収益事業

収益事業を開始し、内容についても拡大・充実させていきます。

4) ファンドレイジング

障害福祉サービス以外の資金獲得に取り組んでいきます。

5) 組織体制の強化

部長課長の昇格・異動により体制を強化し、事業を推進していきます。

事業の廃止や統合により、人材不足を補い、効率の良い事業運営を進めていきます。

2025年度の組織再編に向け、取り組んでいきます。

6) 生活支援体制強化

生活支援場面での勤務を法人内に広げ、支援体制の強化を行います。

7) 危機管理

法令の理解・遵守に努めていきます。

子どもを性犯罪から守るDBS（犯罪歴照会制度）については法令に基づき取り組んでいくとともに、児童や家族が安心できるような支援環境の整備を進めていきます。

災害対策、感染症対策のBCPの周知、訓練等実施していきます。

<人材マネジメント>

2. 人材育成・定着

1) 人材確保

労働人口の減少に対応していく為、外国人材も含めた人材の確保を進めていきます。

法人HP・人材採用サイト・SNSなどの情報媒体の活用や、就職フェアでのブース出展や学校への訪問を行い、人材確保の為の情報発信を行います。

就職説明会や事業所見学、インターンシップの機会を通して、事業所の様子や雰囲気、職員の役割などを伝えることで人材の確保につなげていきます。

2) 人材育成と定着

国が進める処遇改善加算の向上に準じ、処遇向上に取り組んでいきます。

2025年度の組織再編に合わせて、キャリアパスと

人事考課制度の見直しを行い、職員がキャリアデザインを描きやすいものにするとともに、職員個々の経験年数や職責に対応した人事考課制度とすることで、職員がやりがいや達成感を感じながら目標をもって成長できる仕組み作りを進めていきます。

職員が個々の事情に合った働き方が出来る仕組みの導入を進めることで、人材の定着を図ります。

年間の公休数を増やすことなど、職員が働きやすい労働環境作りに取り組みます。

3. 専門性の向上

1) 法人内での支援のコンサルテーションの導入

法人内の人材育成担当による支援のコンサルティンクを実施していきます。支援のコンサルテーションを通して、より高い専門的な支援を獲得し提供していきます。

また、2024年度も自閉症支援の専門家を外部から受け入れます。

2) 強度行動障害支援者養成研修の受講

行動障害の支援に必須となっている強度行動障害支援者養成研修の受講を各事業所で計画的に進めていきます。

3) 法人内研修その他、支援に必要な研修の実施

虐待防止・感染症など法定研修の実施と、専門性向上のために必要な研修を主催し実施していきます。

<事業展開・利用者支援>

4. 事業所の機能分化に向けた検討

各通所事業所の現在の利用者ニーズと将来に想定される利用者ニーズを検討し、ニーズを基に機能分化を進めていきます。各事業所の活動内容の特色を生かして、事業所の併用等の柔軟な受け入れについても実施します。

5. 児童・成人利用者のニーズに応じたサービスの充実

1) 成人

利用者の状態に応じた作業と日中活動の提供を行います。就労Bと生活介護においては適切な工賃設定を進めていきます。

2) 児童

事業を統廃合し、カノンに一本化して実施していきます。児童発達支援事業は廃止し、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援事業、障害児等療育支援事業の3事業を軸に事業を展開していきます。

6. 利用者の加齢による状態変化と重度化の対応

利用者の状態を日々把握し、状態に応じた支援を提供できるように、医療・介護・高齢者施設・専門職との連携や情報収集に努めます。

7. 生活施設の住環境整備

1) 施設入所

一羊園では利用者一人一人のより暮らしやすい環境を整えることを目的に、2023年度よりユニット化の検討を進めています。ニーズごとに4つのユニットを設定し、居室替えを実施します。

2) 共同生活援助

建物の老朽化や支援体制などの課題を解決し、利用者の状態像に応じた支援が提供できる住環境整備を目指します。

8. 利用者の権利擁護と意思決定支援の充実

利用者の権利擁護に取り組んでいきます。

利用者自らが権利を主張できるように、意思形成支援、意思決定支援に取り組んでいきます。

<地域連携>

9. 地域連携・貢献の活性化

地域の会議への参加、イベントの企画などを通して地域の担い手としての役割を努めます。

地域に向けての発信力を高めることにより法人の理解を進め、地域共生社会づくりにつなげていきます。

社会福祉士や保育士、看護師を志す学生の実習受け入れや、地域の事業所向けの研修会を実施し、地域の人材育成に貢献します。

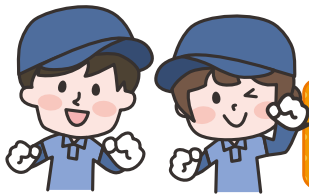
2024年度は西宮市市制100周年を迎える年です。改めて地域の成員としての自覚と、市の取り組みへの参画意識を高め取り組んでいきます。

2024年度 法人単位資金収支予算

(自) 2024年4月1日 (至) 2025年3月31日

(単位：円)

勘定科目		2024年度予算額	2023年度予算額	増減額	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	122,839,480	123,814,389	- 974,909	
	障害福祉サービス等事業収入	1,321,278,785	1,278,222,366	43,056,419	
	経常経費寄附金収入	2,242,000	3,317,803	- 1,075,803	
	受取利息配当金収入	12,327	12,289	38	
	その他の収入	9,817,200	10,828,390	- 1,011,190	
	事業活動収入計(1)	1,456,189,792	1,416,195,237	39,994,555	
	支出				
	人件費支出	994,957,880	989,936,898	5,020,982	
	事業費支出	148,555,197	150,476,290	- 1,921,093	
事務費支出	181,333,647	166,176,425	15,157,222		
就労支援事業支出	120,114,161	123,937,323	- 3,823,162		
支払利息支出	476,136	503,803	- 27,667		
その他の支出	5,047,100	6,285,122	- 1,238,022		
事業活動支出計(2)	1,450,484,121	1,437,315,861	13,168,260		
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	5,705,671	- 21,120,624	26,826,295		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	8,850,000	2,673,000	6,177,000	
	施設整備等寄附金収入	0	280,000	- 280,000	
	固定資産売却収入	70,000,000	1,240,000	68,760,000	
	施設整備等収入計(4)	78,850,000	4,193,000	74,657,000	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	6,072,000	6,072,000	0	
	固定資産取得支出	5,998,550	11,926,918	-5,928,368	
	固定資産除却・廃棄支出	120,000	113,990	6,010	
	ファイナンスリース債務の返済支出	3,549,952	3,549,952	0	
施設整備等支出計(5)	15,740,502	21,662,860	- 5,922,358		
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	63,109,498	- 17,469,860	80,579,358		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	10,724,000	14,214,000	- 3,490,000	
	その他の活動による収入	3,904,000	12,325,519	- 8,421,519	
	その他の活動収入計(7)	14,628,000	26,539,519	- 11,911,519	
	支出				
	積立資産支出	11,315,000	11,885,000	- 570,000	
	その他の活動による支出	0	0	0	
	その他の活動支出計(8)	11,315,000	11,885,000	- 570,000	
	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	3,313,000	14,654,519	- 11,341,519	
	予備費支出(10)	6,700,000	2,800,000	3,900,000	
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	65,428,169	- 26,735,965	92,164,134		
前期末支払資金残高(12)	279,556,499	306,292,464	- 26,735,965		
当期末支払資金残高(11) + (12)	344,984,668	279,556,499	65,428,169		



お仕事紹介

返還所から事業所までを
数回往復して、自転車を
運ぶ利用者の皆さん。

すずかけ労働センターでは、リサイクル自転車の整備と販売を長年行っています。写真で紹介しているのは、久寿川自転車返還所で、持ち主の引き取り期限が過ぎた自転車を引き取りに行っている様子です。この返還所を管理している市から、期限の過ぎた自転車をすずかけ労働センターが買い取らせて頂いています。

引き取られた自転車は、職員と利用者で整備し、リサイクル自転車として販売され、修理できない車体は解体して、リサイクルできる部品と処分する部品に分けられます。廃材となった自転車の部品から作られた『すずかけロボ』も皆さんにご好評いただき、人気商品となりつつあります。資源を再利用して廃材を減らす、SDGsな取り組みでもある、すずかけ労働センターのお仕事です。



解体や整備、
自転車の磨き上げなど、
様々な工程に利用者の皆さんが
携わっています。



寄贈の御礼

三菱電機株式会社 様
三菱電機SOCIO-ROOTS 基金 様

〇カノン

三菱電機株式会社様と三菱電機SOCIO-ROOTS 基金様によるご寄付（エアコン2台）をいただきました。元々設置していたエアコンが経年劣化の為、室温調整が思うようにできなくなっていたので、今回のご寄付により、お子さんにもご家族にも、職員も、快適な室内環境で過ごすことができるようになりました。ありがとうございました。

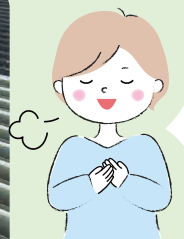


助成金の御礼

公益財団法人
神戸やまぶき財団 様

〇すずかけ労働センター

公益財団法人神戸やまぶき財団様より、施設の新築・増改築費用に対する助成金を頂き、すずかけ労働センターの屋根改修工事を実施させて頂きました。長年の劣化により屋根が腐食していましたが、改修工事をして頂いた事で、利用者、職員とも安心して建物内で過ごす事ができております。この度は本当にありがとうございました。



追悼

岡田 宏之さん

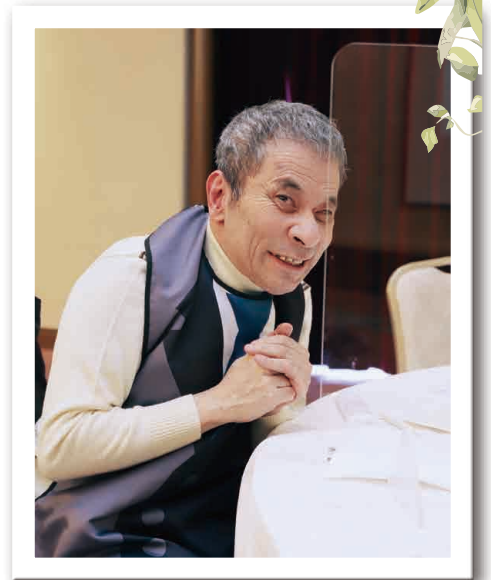
岡田宏之さんが、昨年11月30日、ご病気で逝去されました。享年69歳。

岡田さんは、1978年に23歳で一羊園へ入所されています。いつも笑顔で人懐っこい誰からも好かれる性格。利用者職員問わず、よく話しかけてくれました。一泊旅行やクリスマス会などの行事でも、他者との触れ合いを中心に楽しまれていたように思います。

TVでの相撲・高校野球・国会中継を見ることを好まれ、国会中継を見て「何人おるの?」と聞いてこられる姿が今も心に残っています。

7月にご病気が発覚し、その後も「慣れた一羊園で、出来るだけ長く」という方針で支援してきました。しかし食事が減ってきたこと等から、11月21日にホスピスへ入院。体調の悪化とともに何かと拒否されることが増えていましたが、入院後、誕生日に特別食を病院へ届けた時には嬉しそうな表情で付き添った職員の肩を叩き、懸命にしゃべろうとされていた姿が心に残っています。

ご親族と一緒に大好きなお相撲を見ながら安らかに眠りにつかれました。
ご冥福をお祈り致します。



吉村 圭司さん



吉村圭司さんが、昨年11月27日、ご病気で逝去されました。享年62歳。

吉村さんは、1980年に18歳で入所されています。一番に思いたすのは、新しい職員や実習生が来ると真っ先に誕生日を聞き、その曜日を当てるのが出来、皆を驚かせたことです。電車と音楽が大好きで、阪神電車・阪急電車の全駅を覚えておられ、寝る前の時間に電車クイズをすると即答されていたこと、毎週日曜日にはTVでクラシックコンサートを楽しんでいたことが思い出されます。また昔のこと、阪神パークには「レオポン」がいたことなどもよく話してくれていました。お話好きでとても明るい方でしたので、今でもふと居室から出てこられる錯覚を覚えることがあります。

また、複雑な勤務表を記憶しておられ、出勤となっている職員がいないと、「〇〇さんは?」「今日は休みか?」、その職員が次に出勤した時には「何で休んでたんや?」と声をかけて下さるなど、とても思いやりのある方でした。

最後はご自宅で急変され、ご家族が見守られる中、安らかに眠りにつかれました。

ご冥福をお祈り致します。

一羊園では、短い期間にふたりも大切な仲間が旅立たれました。

おふたりからは、持病がある方の生き方や亡くなり方など、大きな課題を与えられたように感じています。おふたりから教えて頂いた事を心にとめながら、これからも皆さんが日々楽しく暮らせるよう支援していきたいと思っています。
一羊園職員一同

法人・事業所御寄付の報告(敬称略・順不同) (2023年11月1日~2024年3月31日)

*法人

三浦昇(4件) 松枝千尋(2件) 6件

*一羊園

天野朗代 西中 巧 関本弘子 矢萩祐子
中島厚子 藤木孝夫 岡田宏之
一羊園家族会(2件) 脇田捷也 高野重子
北村典子 河津睦子 近藤直哉 14件

*すずかけ作業所

尼崎市手をつなぐ育成会
一般財団法人高友福祉積善会
コープこうべ甲子園口コープ委員会 3件

*すずかけ労働センター

すずかけ労働センター保護者会 1件

*武庫川すずかけ作業所

平野弘子(5件) 匿名希望(3件)
公益財団法人鳴尾会 9件

*ジョイント

藪亀まゆみ(2件) 2件

*児童通所支援

山本浩司 古川 勝 カノン今津保護者有志 3件

*上甲子園すずかけ作業所

上甲子園すずかけ作業所保護者会 山本加津美 2件

いつもご協力・ご支援ありがとうございます!!

2023年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)
(2023年11月1日~2024年3月31日までのご入金分を掲載)

*法人・団体の部

甲山大師神呪寺 (社福)五倫会 2件

*個人の部

天野朗代 笠井喜世志 柏原敏昭 河合万貴子
河津睦子 上林正芳(5口) 北村伸一 黒田輝子
芝 重信 瀧川秀樹(2口) 瀧川千津子 谷沙知佳
福田瑞穂 三原まゆみ 森本隆義
八木米太郎・名見子(2口) 安田文彦 山口苑
すずかけ労働センター保護者会(17口)
上甲子園すずかけ作業所保護者会(14口) 20件

2023年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)
(2023年11月1日~2024年3月31日のご入金分を掲載)

*法人・団体の部

上野神社 (学)神戸女学院 チャプレン室
(学)夙川学院宗教部 関西学院教会婦人会
関西学院宗教活動委員会 関西学院中学部生徒一同
(宗)日本基督教団夙川東教会さくら会
(学)名古屋学院 日本キリスト教団西宮教会
日本キリスト教団西宮教会日曜学校
日本キリスト教団西宮教会婦人会
日本基督教団関西学院教会 西宮浜産業団地協議会
(株)ピー・プランニング 14件

*個人の部

青木純子 井上和巳 井上尚子 大目修平
岡田まり子 柏原敏昭 加藤泰子 河津睦子
北村伸一 木村清一 黒田輝子 堺 敦
芝 重信 高谷知子 田中幸二 中島厚子
古川 勝 万竝建二 宮下 哲 八島満紀子
藪亀まゆみ 山口苑 横山潤・正代 23件

2024年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)
(2023年11月1日~2024年3月31日までのご入金分を掲載)

*法人・団体の部

(株)新井組 (一財)高友福祉積善会 2件

*個人の部

太田博(2口) 森田 順 2件

2024年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)
(2023年11月1日~2024年3月31日のご入金分を掲載)

*個人の部

小久保京子 森田順 2件

【追悼と御礼】

元県会議員の今西永兒様が去る1月31日に逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。今西様には(一社)西宮市手をつなぐ育成会運動と(社福)一羊会設立にご尽力賜りました。2024年4月には、ご家族よりご寄付もいただいております。誠にありがとうございました。 理事長 三浦昇

【口座名義】一羊会後援会

【銀行】三井住友銀行 西宮支店 普通 3007061

【郵便振替口座】01190-8-66322

※受領証については、払込取扱票の振替払込請求書兼受領書をもって後援会の受領証とさせていただきます。

別途受領証が必要な場合はお知らせください。

※現金振込時の手数料について、振込手数料は後援会負担としておりますが、現金でお支払いの場合は別途110円の手数料がかかります。誠に恐縮ではございますが、何卒よろしく願います。(ゆうちょ銀行の通帳やカードでのお支払い時には手数料はかかりません)